令和７年１２月１６日
教育課程部会
外国語ワーキンググループ
資料２

高校の科目の方向性について

第５回外国語ワーキンググループ
江原美明　（Yoshiaki Ehara）
武蔵野大学教育学部
令和7（2025）年12月16日

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

Musashino University

改訂に向けた視点

英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

現状と課題

1. 「話すこと」「書くこと」に課題がある。

2. 「英語コミュニケーション」（４技能）と比べ「論理・表現」（話す・書く）では、授業で活動を通した英語使用の機会が十分に与えられていない。

（第１回WG資料）

大学生の声

- 受験勉強のための英語と実際に使うための英語に差がなくなるといいなと思います。　【内容・教材の適切さ】
- 文法も大事であるが、活動を増やした授業もよいのではないかと思います。また、学校で配られる分厚い参考書も学校では扱わないのに持っているため個人に合った参考書を使っていけばよいのではないかと感じました。【量・項目数】
- 教科書だけの学習ではなく、使える英語を指導するための授業展開の仕方　【実行可能な指導】
- 特にありません。（6名）

（2025年度　教育学科英語コース 2年生26名 /「今後の高校英語教育について、なにかご意見があればお願いします」への記述回答）

視点: 英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

グローバル化社会（国内・国外での個別の英語使用）

・英語の特徴に気づき理解する
・工夫して覚え、思い出し、使う
・音変化とスピードに慣れる
・自動化する

思考・判断・表現　[使える]
（目的・場面・状況を伴う英語使用）

技能[すぐわかる、できる]

知識[気づく・わかる・覚えられる]
音声、語彙、表現、文構造、文法
言語の働き

Exposure, Use, Motivation, Instruction
(Willis, 1996)

・英文の意味を確実に理解する
・意味を考えながら音読する
・内容と言語への注意を調整する
（意味と文法を意識する）
・自分の言える範囲で工夫して
やり取りする（チャンク＋文構造）
・新しく学んだ語彙、文法、文構造
を積極的に使う
・英語を使いながらテキストの内容
や表現を学ぶ
・話す・書くことで特に必要なジャン
ルの言語、談話・論理構造を学び
使う

「英語で教えること」の論拠

視点: 英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

~~技能[すぐわかる、できる]~~

知識[気づく・わかる・覚えられる]

音声、語彙、表現、文構造、文法

言語の働き

Instruction

文法訳読だけの場合…

・文法が苦手な生徒は意味処理のみに頼りがち（勘に頼って訳す）

・聞く、話す、書く、が苦手

視点: 英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

グローバル化社会（国内・国外での個別の英語使用）

思考・判断・表現 ［使える］
（目的・場面・状況を伴う英語使用）

コミュニケーション活動だけの授業の場合…
・チャンクだけで話すので、一定レベル以上に上達しにくい

Exposure, Use, Motivation, Instruction
(Willis, 1996)

視点: 英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

グローバル化社会（国内・国外での個別の英語使用）

・英語の特徴に気づき理解する
・工夫して覚え、思い出し、使う
・音変化とスピードに慣れる
・自動化する

思考・判断・表現　[使える]
（目的・場面・状況を伴う英語使用）

技能[すぐわかる、できる]

知識[気づく・わかる・覚えられる]
音声、語彙、表現、文構造、文法
言語の働き

Exposure, Use, Motivation, Instruction
(Willis, 1996)

・英文の意味を確実に理解する
・意味を考えながら音読する
・内容と言語への注意を調整する
（意味と文法を意識する）
・自分の言える範囲で工夫して
やり取りする（チャンク＋文構造）
・新しく学んだ語彙、文法、文構造
を積極的に使う
・英語を使いながらテキストの内容
や表現を学ぶ
・話す・書くことで特に必要なジャン
ルの言語、談話・論理構造を学び
使う

「英語で教えること」の論拠

目標に準拠した（ルーブリックなども事前に示した）4技能の評価

視点: 英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業(例)

	英語コミュニケーションI, II, III(3～4単位)	論理・表現I, II, III (2単位)
	英語を使いながらテキストの内容や表現を学ぶ(4技能5領域)	話す・書くことで特に必要なジャンルの言語、談話・論理構造を学ぶ
聞く	■ 音変化とスピードに慣れる ■ 聞いた内容を保持する	■ 音変化とスピードに慣れる
読む	■ 英文の意味を確実に理解する ■ 意味を考えながら音読する	■ 内容と言語への注意を調整する
話す(やり取り)	■ 自分の言える範囲で工夫してやり取りする ■ 工夫して覚え、思い出し、使う	■ 自分の言える範囲で工夫してやり取りする ■ 自動化する
話す(発表)	■ テキストの内容に関連した再話・要約・意見発表などを通してテキストの内容や表現を学び、使う	■ 話すことで特に必要なジャンルの言語、談話・論理構造を学び、使う
書く	■ テキストの内容に関連したメモ・要約・意見などを書きながらテキストの内容や表現を学び、使う	■ 書くことで特に必要なジャンルの言語、談話・論理構造を学び、使う

改訂に向けた視点

英語力の基盤となる学習過程に焦点化した授業

References

江原美明. (2025). 高等学校外国語科における資質・能力の育成に向けた学習過程の在り方. 中等教育資料 特集 [高等学校] 各教科等を交えて語り合う③. 令和7年12 (1075), 22−25.

文部科学省. (2018). 高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編.

Willis, J. (1996). *A framework for task-based learning. Longman.*